

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	学校給食用備品整備事業	所管	教育委員会学校教育部 保健給食課
			TEL 2998-9249

事業の目的 (何の為に 行うか)	調理機器等の故障を未然に防ぐとともに学校給食衛生管理基準を達成し、安全・安心な学校給食を児童・生徒に提供するため
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	学校給食センター等給食関連施設の要更新備品	対象とした数	100	台
		実際に 利用した数	66	台

活動の内容 (何を したか)	1 学校給食センター等調理場の既存設備をドライ対応化する。 2 小中学校48校の牛乳保冷库や配膳台等を老朽化及び耐用年数等を考慮しながら更新する。							
	活動実績	項目名	ドライ対応調理台・シンク等更新	31 ----- 単位 台	項目名	配膳台・リフト用運搬車等更新	35 ----- 単位 台	項目名

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	5,697	5,641	17,477	51.5

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	衛生管理基準達成率	備品購入台数/要更新備品数	100 ----- 単位	66 ----- 単位	66.0 ----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕	終了			
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	130300	TEL	2998-9249
事業コード	130309	学校給食用備品整備事業	教育委員会学校教育部 保健給食課			
開始年度	平成 8 年度	→	終了年度	平成 年度		
		グループ	施設の維持・管理グループ			

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令				
	分野別計画・指針					学校給食法、学校給食衛生管理の基準			
	関連・類似事業					学校給食法、学校給食衛生管理の基準			
	総合計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び人・文化をはぐくむまち	施策	2節 学校教育	中柱	5 健康な児童生徒の育成	小柱	(2) 学校給食の充実
	H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 6 位		実施計画における位置づけ…		H19	<input type="radio"/>	H20	<input type="radio"/>	
行政改革大綱における行動計画への位置づけ									
コード	2223	事前評価制度の充実・強化	コード	3221	公共工事のコスト構造改革	コード			
事業開始の背景		学校給食センター等の調理場及びセンター対象校の給食備品の老朽化が進み、既存の備品では衛生管理の基準を達成することが困難になり、早期に改善しなければ破損・故障及び食中毒等により給食停止が危惧されるため、計画的に備品の更新及び充実を図るため開始した。							

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)								
	調理機器等の故障を未然に防ぐとともに学校給食衛生管理基準を達成し、安全・安心な学校給食を児童・生徒に提供するため								
	対象(誰を、何を対象としているのか)				利用数の考え方				
	学校給食センター等給食関連施設の要更新備品				更新できた備品の台数				
	対象数	単位	平成 18 年度	100	台	利用数	単位	平成 18 年度	79
		平成 19 年度	100	台			平成 19 年度	66	台
事業の具体的な内容及び実施方法									
1 学校給食センター等調理場の既存設備をドライ対応化する。									
2 小中学校48校の牛乳保冷库や配膳台等を老朽化及び耐用年数等を考慮しながら更新する。									

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>						
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])					
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)					
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
平成19年度中に改善した点							
厳しい財政状況のなか、前年に引き続き耐用年数及び安全基準等を勘案しながら、優先順位を見直し更新した。							

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		5,686	5,697	5,694	
	決算(見込み含む)		5,367	5,641		
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人)	(人)	(人)	(人)	
	正規職員人件費		1.26 人	11,592	1.26 人	11,836
	公債費					
	事業費合計		16,959	17,477		
	財源内訳	一般財源		16,959	17,477	5,694
		国・県支出金				
		受益者負担金				
市債						
その他						
市民一人当たり(単位:円)			50.2	51.5		
利用数一単位あたり(単位:円)			214,670.9	264,809.7		

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	ドライ対応調理台・シンク等更新	購入台数	台	12	31	50	
		配膳台・リフト用運搬車等更新	購入台数	台	67	35	50	
	成果分析	衛生管理基準達成率	備品購入台数/要更新備品数		目標値	100	100	100
					実績	79	66	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2
%		達成率		79.0	66.0		1	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input checked="" type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input type="checkbox"/> 見直しの必要なし	所沢市(教育委員会学校教育部保健給食課)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題	厳しい財政状況のなか、更新が必要な台数に比べ更新が進まないため、安全基準及び耐用年数等を勘案し優先度をつけて更新していく。				
⑧二次評価	評価項目	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
	平成20年度における目標設定	学校給食センター及び単独調理場に調理機器を導入し衛生管理の徹底を図る。	各小中学校の老朽化した配膳台等の更新と各調理場の調理機器をドライ対応備品に更新する。	平成21年3月	
	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])			
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由					
現在、計画的に更新を進めているが、衛生管理基準を達成するために調理場のドライ推進を図っていくためには、ドライ対応備品の更新が不可欠である。また、衛生管理の徹底と事故防止、安定供給のためには、引き続き当該事業を推進していく必要があるが、厳しい財政状況のなか、耐用年数及び安全基準等を勘案し、優先順位を年次で見直ししながら更新していく必要がある。					
評価日	平成20年5月20日	記入者職氏名	保健給食担当 安田政昭		

⑨個別計画における方向性	一次評価における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了					
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
	評価理由	評価日					
	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価
見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> A: 優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業	
評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B: 重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業	
評価日	<input type="checkbox"/> C: 現状での実施は見送るべきと評価する事務事業						

◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード			
◎個別計画における方向性	基本目標					
	主要課題					
	施策の方向					
◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード			